

第 5 次 三 郷 市 総 合 計 画

第5次三郷市総合計画は、
まちの将来都市像を描き、
まちづくり方針と経営方針を明確に示した、
まちづくりを進めるための羅針盤です。
計画に基づき、三郷市の未来のまちづくりが、
力強く進められています。

1 安全で いつも安心して住める まちづくり

市民の生命と財産を災害から守る強靱な地域基盤をつくり、誰もが安全・安心に暮らせるまちづくりを目指します。防災対策については、ソフト・ハード双方における防災基盤の構築、風水害対策の強化、消防体制の充実や地域防災力の強化を図ります。防犯活動の強化、交通安全対策の推進、市民相談体制の充実等を推進します。

2 子どもが健やかに、 のびのびと成長できる まちづくり

誰もが安心して子どもを育てることができる環境の整備を図るとともに、子どもが健やかに育ち生きる力を育むまちづくりを目指します。妊娠・出産に対する社会的支援の強化、保育サービスや児童クラブの充実、「子どもの居場所」づくり、ひとり親家庭への支援等、子どもと子育て家庭を支える取り組みに力を入れると同時に、質の高い教育と教育環境の充実、青少年健全育成等に努めます。

3 水と緑を生かした 環境にやさしい まちづくり

誰もが自然を身近に感じられる環境をつくるとともに、地球環境にも配慮した豊かな暮らしの実現を目指します。生活環境の保全、緑と水辺による快適な環境づくりを推進し、自然と調和した美しい景観づくりを実現します。また、省エネルギー、ごみ削減、リサイクルを推進すると同時に、廃棄物の適正処理や公共下水道の整備等に努め、持続可能な循環型社会を構築していきます。

総合計画 将来都市像

きらりとひかる 田園都市みさと

～人にも企業にも選ばれる魅力的なまち～

都市基盤の充実した 住みやすい まちづくり

計画的な土地利用と魅力ある拠点の形成を図るとともに、都市基盤整備を進め、地域特色を生かした快適な都市を目指します。定住性の高い、ゆとりある住宅地の形成、市内産業の発展に寄与する土地利用を実現するとともに、駅やインターチェンジ周辺、市内公園等の環境を生かしたまちづくりを進めます。さらに、道路環境の整備や住宅施策を進め、安全で良好な住環境を実現します。

魅力的で 活力のある まちづくり

農業、商業、流通、工業、観光などの振興を図るとともに、新たな産業や雇用の創出を図り、にぎわいのあるまちづくりを目指します。商店街の活性化、中小企業事業者・創業者支援の充実、交通利便性を生かした商工業や都市型農業の振興等に力を入れるとともに、地域資源や人材を生かした観光の振興、まちの魅力の発信、グローバルな視点に基づくまちづくりに努めます。

誰もが 生きがいを持ち 輝くまちづくり

誰もが健康で生きがいを持ち、文化・スポーツ活動のできる環境の充実を図るとともに、多様な交流のあるまちづくりを目指します。読書を通じた交流の推進、読書環境の整備、生涯学習の推進、スポーツ・ウェルネスの推進に努めると同時に、文化・芸術の振興、文化財・伝統文化の保存・継承、平和と人権を大切にする社会づくり、ジェンダー平等社会の形成を推進します。

健やかで自立した 生活を支え合う まちづくり

誰もが健やかで自立した生活を送ることができ、また、互いに支え合い、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指します。健康診査・各種がん検診の推進、地域医療体制の整備等、健康づくりや医療環境の充実を図るとともに、安定した社会保障制度の確立、地域福祉の推進に力を入れます。さらに、地域包括ケアシステムの推進、障がい者福祉、高齢者福祉の充実に努めます。

三郷の伝統・文化財



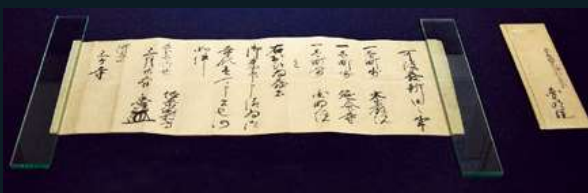
郷土資料館

ふるさと三郷について、歴史・文化財・暮らしの道具の3つのテーマから紹介しています。市のイベントや季節にあわせた特集コーナー、みさとデジタルミュージアムと連動した展示コーナー、屋外展示などさまざまな展示から郷土の歴史・文化を学ぶことができます。



彦成小学校講堂記念館

大正15(1926)年に彦成村尋常高等小学校の講堂として建築された建物で、大正時代の建築様式が残る木造建築物です。現在は郷土資料館分館として、三郷の教育や、農具・民具などを展示しています。



河辺三ヶ寺宛 伊奈忠次開発手形

市内最古の古文書で、慶長6(1601)年徳川家の代官頭である伊奈忠次が用排水路の整備と新田開発を奨励するために出した手形です。二郷半領内の早場米の産地として郷土の発展と農耕の歴史を今に伝える重要な史料です。



万葉遺跡 葛飾早稲産地

万葉集巻十四の東歌には、「鳩鳥の葛飾早稲を饗すとも其の愛しきを外に立てめやも」と歌われています。万葉集に関わる歌謡遺跡であることから埼玉県指定旧跡に指定されています。

長板中型

浴衣の染めとして江戸時代から発達してきた藍染技術です。長板とは、型付けに使うもみ材の板のことで、中型とは、模様の種類を指す言葉です。



大銀杏

樹齢約600年。銀杏の実は、昔から厄除けの実として、正月元日から三日間の内に、近郷在住の老若男女が境内に集まり家族の数だけ実を持ち帰り、これを通してその年の無事を祈願したといわれています。



観音堂

市内最古の建物で室町時代後期～江戸時代初期に建立されたと推定されています。観音堂に使用されている木材は、全てこの土地に育った樹木であるといわれています。



虚空蔵堂

江戸時代中期の細分意匠を有する寺院建築です。『新編武蔵風土記稿』には、延享2(1745)年に建立されたと記されています。



戸ヶ崎の三匹の獅子舞

7月第1日曜日を最終日とした3日間、戸ヶ崎香取神社で行われる祭礼です。天正10(1582)年に当時の領主が村人に凶事が続いたことを憂い、獅子舞を奉納し、村人の長寿、疫病退散、五穀豊穡を願ったことが始まりと伝えられています。



番匠免の大般若経祭り

無病息災・疫病退散を祈念して、迎福院と神明神社で行われる神仏習合の祭礼です。六百巻の大般若経を六つの木箱に収め、荒縄をかけ、町内を巡ります。木箱を地面にこすりつけて切れた縄は、魔除けとして各家で軒先や玄関先に取り付けられます。



幸房・岩野木の獅子舞

毎年10月15日前後の日曜日に富足神社で行われる祭礼です。大水書に見舞われた際に3つの獅子頭が江戸川に漂流し、疫病が流行りました。これを鎮めるために獅子舞を奉納したのが祭礼の始まりといわれています。



三郷市のオビシャ (大広戸の蛇祭り)

例年1月10日に大広戸香取神社で行われる祭礼です。氏子の五穀豊穡を祈り、稲穂で蛇を作って無病息災の厄払いをします。近年は「蛇祭り(じゃまつり)」とも呼ばれ、その始まりは寛文年間(1661～73年)にさかのぼります。



上口の二郷半囃子・里神楽

7月第2土曜日上口香取神社で行われる祭礼です。江戸時代から伝わるお囃子と神楽で、氏子の安全、疫病退散、五穀豊穡を願います。



万作踊り

市内全域に古くから伝わる民俗芸能です。豊年万作を祝う芸能として始まったものが、次第に地域の娯楽として踊られるようになりました。稲作中心の農耕を行っていたという地域の歴史を物語ります。

三郷の軌跡

～物語を紡いだ、これまで～

三郷市は、令和4(2022)年に市制施行50周年を迎えます。豊かで質の高い市民生活や、住みよく便利なまちづくりの実現を目指して、着実に発展を遂げてきたまちの歩みを振り返ってみましょう。

昭和

昭和31(1956)年

彦成・東和・早稲田の三村が合併し、三郷村が誕生(人口1万7,313人)

昭和39(1964)年

町制施行(人口2万1,766人)、三郷町となる

昭和47(1972)年

市制施行(人口4万9,618人)、三郷市となる

三郷市民憲章制定

昭和48(1973)年

国鉄武蔵野線開通、三郷駅開業

みさと団地第1次入居開始

昭和49(1974)年

市の木シイノキ、市の花サツキを制定

昭和52(1977)年

勤労者体育館・県立三郷勤労青少年ホーム開館

北公民館・北児童館開館

三郷市交通安全都市宣言

昭和54(1979)年

三郷放水路完成

埼玉県新大場川水門完成

昭和55(1980)年

松戸・三郷有料道路開通

三郷早稲田団地入居開始

昭和56(1981)年

新共和橋竣工

昭和57(1982)年

市制施行10周年(人口9万9,974人)

市の人口10万人突破

昭和58(1983)年

埼玉県大場川下流排水機場完成

埼玉県中川流域下水道終末処理センター完成・下水道供用開始

市役所新庁舎落成

市立図書館開館

昭和59(1984)年

コミュニティセンター、南児童センター開館

文化会館開館

長野県三郷村と友好都市締結

市民憲章

- 1 環境をととのえ、川や道路をきれいにし、花とみどりを愛して、美しいまちをつくりましょう。
- 1 老人やこどもをいたわり、おたがいに人格を尊重し、しあわせな家庭、豊かな都市をつくりましょう。
- 1 教養を高め文化の向上をはかり、若い力を伸ばして明るい社会をつくりましょう。
- 1 スポーツを愛し、自然に親しみ、健康で住みよい郷土をつくりましょう。
- 1 すべてのきまりを守り、交通災害や暴力のない平和な三郷をつくりましょう。

昭和47(1972)年
三郷市民憲章制定



昭和47(1972)年
市制施行、三郷市となる
三郷町から三郷市に。市制施行時の人口は4万9,618人でした。



昭和58(1983)年
市役所新庁舎落成
市制施行10周年を迎えた翌年、現在の場所(花和田)に新庁舎が完成しました。

平成

昭和60(1985)年

潮郷橋開通

常磐自動車道と首都高速足立・三郷線が接続し供用開始

武蔵野線新三郷駅開業

昭和61(1986)年

第1次三郷市総合計画策定

奈良県三郷町と友好都市締結

さつき平「パークフィールドみさと」への入居開始

昭和62(1987)年

早稲田図書館開館

昭和63(1988)年

三郷市非核平和都市宣言

彦成・東と東地区文化センター開所

平成元(1989)年

第2次三郷市総合計画策定

平成2(1990)年

三郷市スポーツ健康都市宣言

総合体育館開館

平成3(1991)年

高州地区文化センター開所

埼玉県東南部都市連絡調整会議設立

平成4(1992)年

市制施行20周年(人口13万1,125人)

一般廃棄物最終処分場竣工

郷土資料館開館

東京外環自動車道(三郷～和光間)開通

平成5(1993)年

北部図書館開館

消防・防災総合庁舎落成

平成6(1994)年

高州地区体育館開館

半田運動公園完成

平成7(1995)年

鷹野文化センター開所



昭和48(1973)年
国鉄武蔵野線開通、三郷駅開業



昭和54(1979)年
三郷放水路完成



昭和60(1985)年
常磐自動車道と首都高速足立・三郷線が接続し供用開始



昭和62(1987)年
早稲田図書館開館



平成4(1992)年
東京外環自動車道開通



平成5(1993)年
消防・防災総合庁舎落成



平成17(2005)年
つくばエクスプレス開通、三郷中央駅開業
都心へさらにアクセスしやすくなりました。駅周辺の
住環境も整備が進みました。



平成23(2011)年
瑞沼市民センターに避難所を設置
お見舞いのため避難所をご訪問された、皇
太子同妃両陛下(現天皇后両陛下)。



平成24(2012)年
ビアラシティ交流センター開所
市内の新たな交流拠点として開所し
ました。多世代が集まり、市民活動
やイベントを楽しめます。

平成

平成10(1998)年

5市1町の公共施設の相互利用開始
シルバー元気塾スタート

平成11(1999)年

新三郷駅ホーム上下線一体化完了
健康福祉会館開館

平成13(2001)年

第3次三郷市総合計画策定
埼玉大場川上流排水機場完成
三郷市環境基本条例制定

平成14(2002)年

市制施行30周年(人口13万1,161人)
市内初のコミュニティバスが運行開始

平成15(2003)年

世代交流館ふれあいパーク開所
みさとファミリー・サポート・センター開設

平成17(2005)年

ビアラシティ開業
つくばエクスプレス開通、三郷中央駅開業
東京外環自動車道
三郷南インターチェンジ開通
市の鳥「カイツブリ」制定

平成18(2006)年

三郷市環境基本計画策定
瑞沼市民センター開所
長野県安曇野市と友好都市締結

平成19(2007)年

三郷スカイパーク開園

平成20(2008)年

におどり公園開園
三郷市地域福祉計画策定
新三郷ららシティまちびらき
三郷料金所スマートインターチェンジ
社会実験スタート

平成21(2009)年

三郷市自治基本条例制定
三郷市マスコットキャラクター
「かいちゃん&つぶちゃん」誕生
新三郷ららシティ商業施設群開業
「ららほっとみさと」がサービス開始

平成22(2010)年

第4次三郷市総合計画策定
三郷市景観計画策定、三郷市景観条例制定
新中川橋開通



平成30(2018)年
三郷市陸上競技場オープン
日本陸上競技連盟が認定する第4種公認陸上競技場
です。400mフルトラックと、大型映像装置も備え
ています。



令和3(2021)年
ギリシャ共和国陸上選手団
ギリシャ共和国のホストタウンで
ある三郷市において、陸上競技選
手団の事前キャンプが実施され
ました。



令和4(2022)年
市制施行50周年記念ラッピングバス
お披露目セレモニー
市制50周年ロゴマークなどをデザインした
ラッピングバスの運行にあたり、お披露目セ
レモニーを実施しました。

令和

平成23(2011)年

東日本大震災
瑞沼市民センターに避難所を設置

平成24(2012)年

市制施行40周年(人口13万3,318人)
ビアラシティ交流センター開所

平成25(2013)年

日本一の読書のまちを宣言

平成26(2014)年

市立図書館・郷土資料館移転、新築開館
みさとの風ひろば完成

平成27(2015)年

新和吉川線開通
みさとこどもにこにこプラン策定

平成28(2016)年

三村合併60周年
長野県安曇野市、奈良県三郷町との
友好交流30周年
第4次三郷市総合計画後期基本計画・
三郷市版総合戦略・
三郷市版人口ビジョン策定
東京2020オリンピック・
パラリンピック競技大会における
ギリシャ共和国のホストタウンとして登録

平成29(2017)年

市制施行45周年(人口13万9,413人)
人口14万人達成

平成30(2018)年

東京外環自動車道三郷南インターチェンジ
から高谷ジャンクションまで延伸
三郷市陸上競技場オープン
子育て支援ステーションほほえみ開設
三郷市PR大使を委嘱

平成31・令和元(2019)年

消防本部・消防署50周年
三郷中央におどりプラザ開所
戸ヶ崎ふれあいひろば、
ふれあいの郷新田開所

令和2(2020)年

三郷市観光協会法人化
三郷料金所スマートインターチェンジ
フルインター化新規事業化

令和3(2021)年

第5次三郷市総合計画策定
東京2020オリンピック競技大会
ギリシャ共和国陸上競技選手団
事前キャンプ受入

令和4(2022)年

市制施行50周年



平成17(2005)年
ビアラシティ開業



平成20(2008)年
新三郷ららシティまちびらき



平成21(2009)年
「かいちゃん&つぶちゃん」誕生



平成26(2014)年
市立図書館・郷土資料館移転、新築開館



平成30(2018)年
三郷市PR大使を委嘱

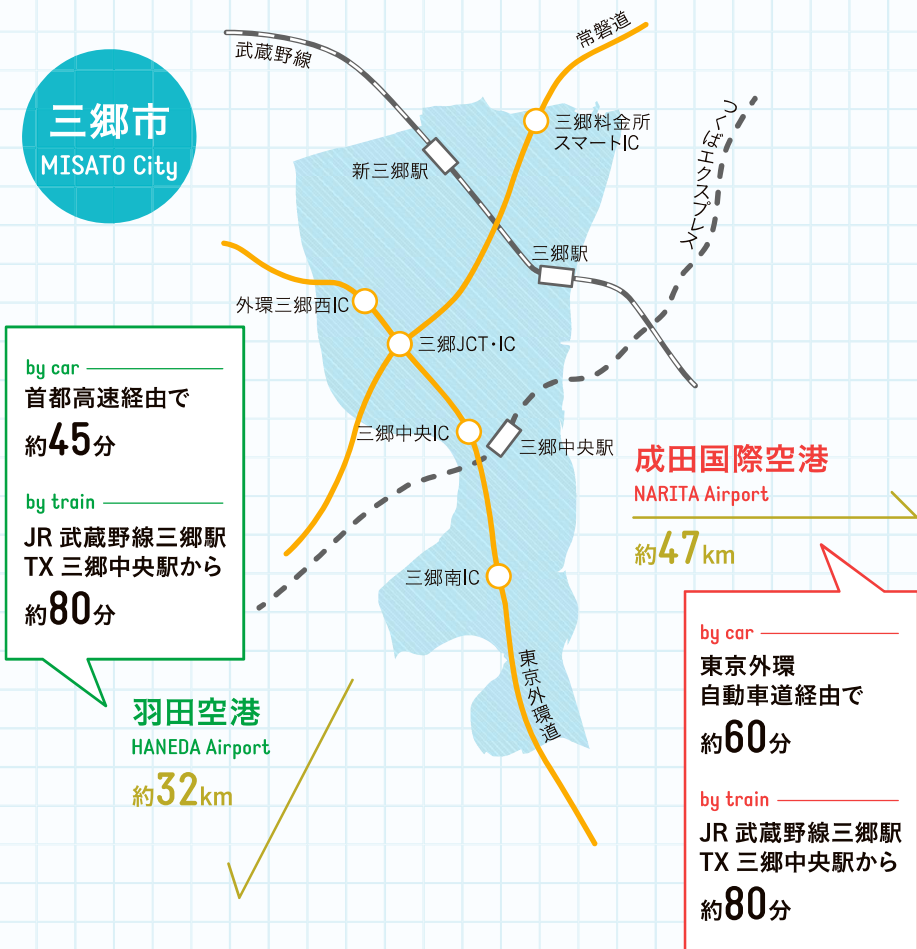


平成31・令和元(2019)年
三郷中央におどりプラザ開所

DATA OF MISATO

[地勢]

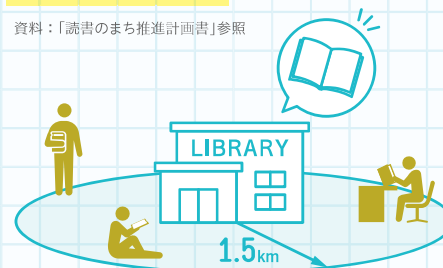
三郷市は、埼玉県東南端に位置します。地形は低平で、ほとんど高低差がなく、北から南に向かってわずかに低くなっています。地質をみると、関東平野の江戸川および中川(古利根川)に沿った沖積平野に属します。江戸川対岸の東部は下総台地ですが、当地方の沖積層は、台地を河川が浸食し、奥東京湾を運搬堆積物で埋めながら形成されたもので、上層部は一般に軟弱地盤、深度30～50メートル位まで沖積層が続いています。



[図書館設置状況]

市内全地点から**1.5km**圏内に
図書館(室)を設置

資料：「読書のまち推進計画書」参照



[学校図書館 一人あたりの年間貸出冊数]

小・中学校平均 **93.6冊**

令和2年度末
資料：指導課

[読書関連団体数]

38団体 **433人**

令和2年度末
資料：日本一の読書のまち推進課

[総人口]

143,028人

[世帯数]

66,716世帯

令和4年(2022)1月1日
資料：住民基本台帳(市民課)

[転入数]

6,160人

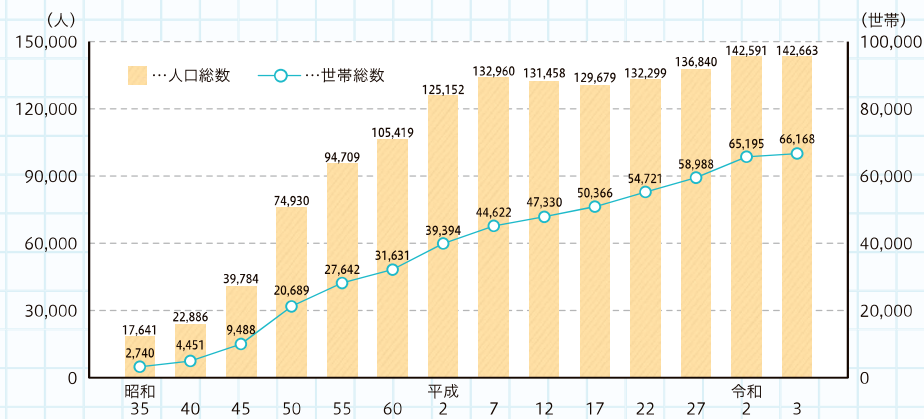
[転出数]

5,732人

令和2年度
資料：市民課

**9年連続
人口増加**

[人口・世帯数推移]



資料：住民基本台帳(各年4月1日)

行政

行政を取り巻く環境は、少子高齢化、人口減少、厳しい経済状況、価値観の多様化に伴い、著しく変化しています。東日本大震災や新型コロナウイルス感染拡大を経験したことによる安全・安心確保に対するニーズの高まり、経済・社会・環境の3つの側面のバランスがとれた社会を目指す世界共通の目標であるSDGsの推進など、時代の潮流と社会の変化を捉え、市民とともに魅力的なまちづくりを進め「きらりとひかる田園都市みさと」の実現を目指します。



教育長 有田 るみ子 市長 木津 雅晃 副市長 石出 弘 副市長 吉田 敏晴



議長 武居 弘治 副議長 佐藤 睦郎

議会

市議会は、市民から選挙で選ばれた24人の議員で構成されています。年4回開催される定例会や臨時会では、予算・決算をはじめ、条例や市の施策、市民からの請願などが審議され、市民の意思を市政に反映させる役割を担っています。議員は地域の課題のみならず、さまざまな市政の課題を的確に把握し、市民全体の福祉向上を目指して行動することにより、市政発展に向けた取り組みを積極的に推進していきます。



友好都市



長野県
安曇野市

昭和59年9月22日友好都市提携調印。安曇野市(旧三郷村)は、北アルプスを背景に四季折々の自然が美しいまちで、都市生活にない雄大な自然に触れることができます。



奈良県
生駒郡三郷町

昭和61年10月18日友好都市提携調印。三郷町は信貴山・龍田大社や古い遺跡の多い歴史のまちです。金剛生駒紀泉国定公園の一部でもあり、豊かな自然と文化に恵まれた穏やかな趣があります。

災害時相互応援協定

福島県 広野町

三郷市と広野町は常磐自動車道つながり、平常時もさまざまな交流を行っています。東日本大震災時には三郷市で避難所開設・救援物資提供等の支援がなされ、絆が一層強固になりました。

千葉県 館山市

三郷市から館山市までは、アクアラインまたは京葉道路を利用して1時間45分程度。アクセスしやすく、館山市は宿泊施設等も充実しているため、平常時の市民間交流も期待されています。

東京都 葛飾区

三郷市は都内通勤者が多く、帰宅困難者への対応等、葛飾区との協力が不可欠です。また、広域避難場所のみさと公園が水元公園と近接しており、円滑な避難者支援に向けた連携が大切です。

福島県 西会津町

東日本大震災後の平成26年2月に協定締結。平常時も、西会津町と三郷市、双方のイベントで交流したり、消防行政の視察のため、西会津町の消防団を受け入れる等、友好関係を深めています。

埼玉県 行田市

三郷市から行田市までは、東北自動車道を利用して1時間程度。短い距離間を活かした連携が期待されています。協定締結時には行田市の「市の花」である行田蓮(古代蓮)が贈られました。

[埼玉県内全市町村]、友好都市の[安曇野市][三郷町]についても、災害時相互応援協定を結んでおります。

市のシンボル



市の木 シイノキ

昭和49年5月3日制定。ブナ科の常緑高木で、実は食用、皮は染料等に用いられました。暮らしと関わりの深かった樹木です。



市の花 サツキ

昭和49年5月3日制定。ツツジ科の常緑低木で、5〜6月に紅色や薄紫の花を咲かせます。1,000種以上の品種があります。



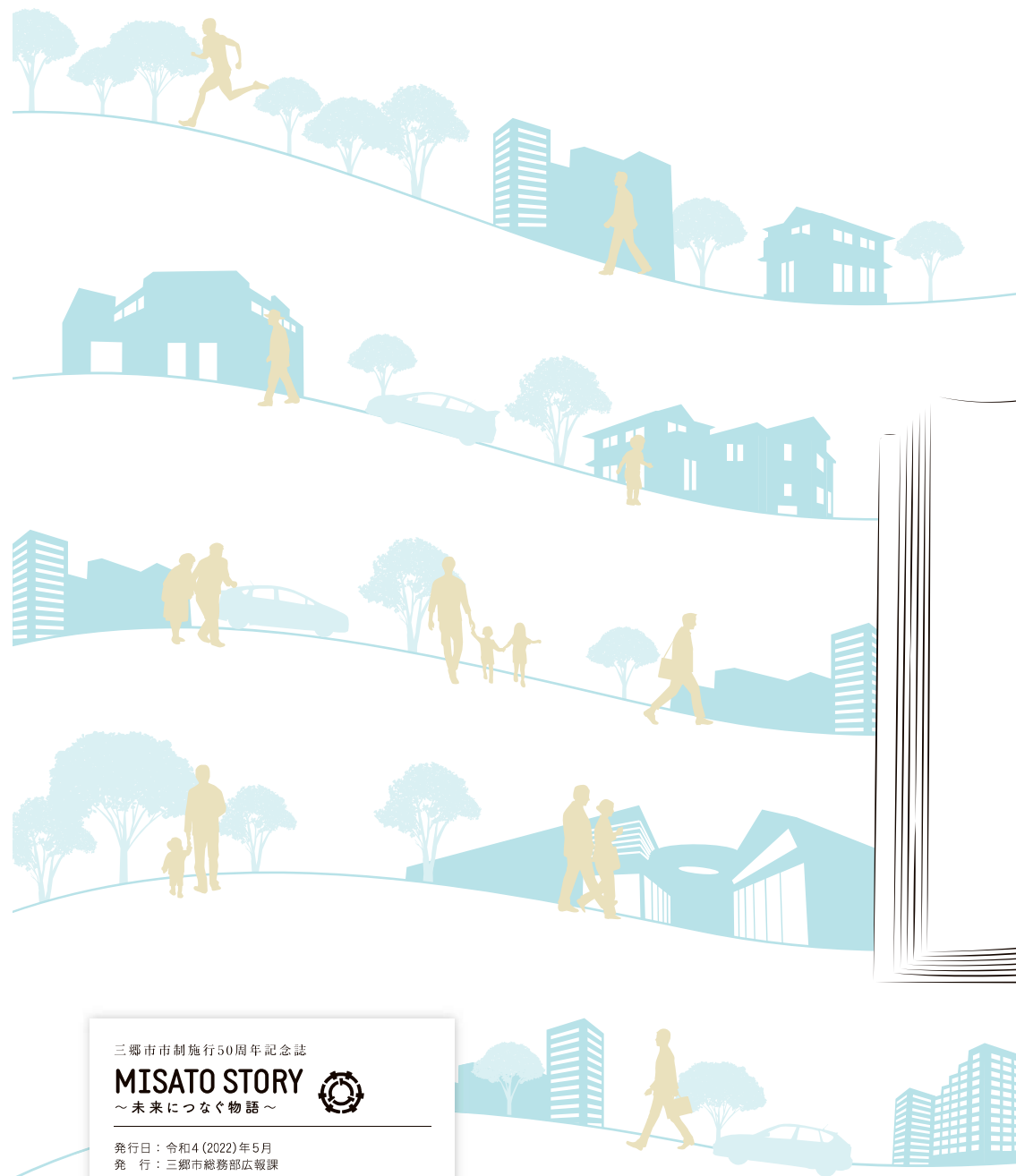
市の鳥 カイツブリ

平成17年1月1日制定。河川や湖沼に生息します。市のマスコットキャラクター「かいちゃん&つぶちゃん」のモチーフとしても市民に愛されています。



市章

昭和35年12月10日、当時の三郷村において選定。三郷町、三郷市へと引き継がれています。3つの「サ」「ト」をカタカナで図案化し「ミサト」を示しています。



三郷市市制施行50周年記念誌

MISATO STORY

～未来につなぐ物語～

発行日：令和4(2022)年5月

発行：三郷市総務部広報課
〒341-8501

：埼玉県三郷市花和田648番地1

T E L：048-930-7762

F A X：048-953-1160

制作：株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所